



校長室だより

進化し創造したコロナ禍2回目の秋桜祭



新型コロナ感染情報が日々更新され、台風14号も迫り来る中、中込中学校第15回秋桜祭を予定通り2日間開催することができました。夏休み明けの準備期間が感染対策のため例年のように確保することができず、秋桜祭開催に向けては幾つもの困難がありました。しかし、その様な困難を乗り越えやり遂げた秋桜祭。閉祭式で次のような話しをさせていただきました。

中中文化の復活、そしてHope Balloonsによる発信！

昨年に続くコロナ禍のもと、時間や環境など様々な制約があるなかで、企画・準備してきた第15回秋桜祭が、今終わろうとしています。みなさんひとりひとりが秋桜祭テーマ「共震」、共に心震わせる2日間になったのでしょうか？私にとって中込中学校の「秋桜祭」は3回目でしたが、今年の秋桜祭は、同じコロナ禍でも昨年とはまたひと味違う今年ならではの特別な秋桜祭になったと思いました。私がこの2日間を通して感じた3つの素晴らしさを話したいと思います。

まず、1つ目は、「中中文化の復活と創造」です。昨年断念した音楽会を今年は復活させたことで、一昨年まで脈々と流れてきた中中の合唱文化を復活させ、来年度へ繋げることができました。マスク越しではありましたが、1学期から少しずつ練習を積み重ねる中で、中中が大切にしてきた伝統を再確認し、表現することができました。また、昨年度大きな成果を得たコスモステージを拡大し、今年は2日間に渡って行ったフリーステージも、テンポのよい進行とバラエティ豊かな内容で、楽しく盛り上がる企画となり、中中文化を発展的に創造しながら、継承することができた時間になりました。



【2年ぶりに開催し、復活した中中伝統の合唱文化】

2つ目は、「けじめと判断力」の素晴らしさです。前日準備の時に「テーマソング【飛行艇】のオルゴール曲が鳴ったら発表を聞く態勢にしてください」という連絡がありましたが、この2日間体育館で一度も「静かにしてください」というアナウンスはありませんでした。これも、昨年度から続く中中の伝統であり、日頃の「けじめある生活」の賜です。担当役員のみなさんの進行を全校でアシストする素敵な姿でした。

3つ目は、中中の「熱」、「熱さ」、「エネルギーの強さ」です。やっぱり「文化祭っていいなあ」と改めて感じた2日間でした。開祭式の本部企画の、凝った動画や演出、各クラス紹介ムービーは、取材に来ていた信毎やNHKの記者の方から「プロに作ってもらったんですか？」と言われたほど凝った出来映えで、本当に楽しかったです。台風接近のため午前中に変更した体育祭も、クラスの一体感を感じながら、みんなで「心を震わせながら練習した成果」を出そうと必死で走り飛ぶ姿がありました。3年生男子の4クラス全部が2分以上ひっかからず飛び続けた大縄飛びは、近年にない接戦で、特に印象に残っています。

<裏面に続く>

また、限られた制作時間の中で美術部の皆さんが創り上げたテーマにふさわしい華やかなステージバック、特に今年は1日目と2日目に変化し、最後サプライズも仕掛けてあるという斬新な作品に挑戦し全校を驚かせてくれました。秋桜祭ポスターをあしらった手作り感満載の分厚い「パンフレット」、秋桜祭成功に向けて毎週のように12号まで発行してくれた「中中ダイアリー」、強風のため理想的には飛びませんが、佐久青年会議所の方々の協力を得ながら、地域の活性化を目指し、全校で作り飛ばした39個のHope Balloons、この活躍については、昨夜のNHKとテレビ信州のニュース番組で、そして今朝の信濃毎日新聞でも取り上げていただきました。まだ読んでいない人は今夜ぜひ信濃毎日新聞を読んでください。中中の活躍が全県に広がりました。風が強くてうまく飛ばなかったけれど、あのバルーンを創り上げるために協力し、創り上げたこと自体に大きな価値があると私は思います。今年の大きな成果になりました。さらには、人数を厳選して行った意見発表会、3年4組佐藤琉夏さんの「校則は弱いもの見方になるためにあるのではないか」とい



【台風に負けず、何とか飛ばしたホープバルーンズ】

う意見には、改めて校則のあり方を考えさせられました。2日目の最初を飾ってくれた吹奏楽部の演奏。みんなが知っている曲をいくつも取り入れ、秋桜祭2日目を早朝から盛り上げてくれました。多目的ホールに飾られたとても中学生が作ったとは思えないような家庭科部の素敵な作品、保健委員会のコロナに関わる発信や運動部の成果を発表した展示物、各クラスの黒板アート、体育館壁や昇降口に飾られた1人1人のSHINに込められた願いなど、コロナ禍2年目として、去年より一段と工夫したアイデアが沢山詰め込まれた充実の2日間になりました。

この様な姿は皆さんと一緒に取り組んだ先生方、バルーンにメッセージを寄せてくれた地域の皆さんや小学生、打ち上げに協力していただいた佐久青年会議所のみなさん、資金集めのために多くのアルミ缶を提供して下さるなど陰で支えて下さった保護者や地域の皆さんのエネルギーの結晶です。「中込中のエネルギー」とその「熱さ」を改めて感じた2日間でした。

この2日間と今日まで歩んできた準備の過程は、中込中学校にとって、明日からの成長に繋がる貴重な時間となり、その成果を十分発揮することが出来た秋桜祭となりました。学友会の役員をはじめとした3年生のみなさん、ありがとうございました。中込中にまたひとつ大きな伝統を残してくれたことに感謝します。1～2年生の皆さん、先生方、日々の生活を陰で支えてくれた保護者の皆さんに感謝です。

全校ひとりひとりが主役となって力を発揮し、共に創り上げ前進した姿は、今年の学友会スローガン「維 SHIN ～自ら進む 共に進む～」にもつながり、この秋桜祭を通してひとりひとりが、そして各クラス、学年、全校が確実に「自ら進み、共に進んだこと」を実感しました。開会式で話した「ワクワク」する企画を「メリハリ」をもって行うことができ「コロナに負けずよくここまでやってくれた！」と私は今心から感謝しています。今年の秋桜祭の成果を受け止め、来週から始まる今年度後半に向けて、更にもう一歩歩みを進めていきましょう。感動にあふれる素晴らしい2日間を本当にありがとうございました。

秋桜祭のような文化的活動によって、生徒、学級、学年、そして学校は大きく成長することを改めて感じた2日間でした。コロナ禍前の様に多くの保護者の皆様とこの感動を共有できたらと願っていましたが、今年も叶わず大変心苦しい思いです。しかし、今回は動画配信によって昨年度より文化祭全体の様子をお伝えすることができるかと思います。オクレンジャーにて配信済みですのでぜひご覧下さい。秋桜祭についてのご意見・ご感想などありましたら、来年度へ繋げるためにもぜひお寄せいただければと思います。2学期後半も「全ては中込中学校の子どもたちの笑顔のために!」、「生徒も先生も、明日も早く行きたいと思う学校づくり」を目指し取り組んでまいります。今後ともご支援・ご協力よろしくお願い致します。
(文責：大西孝一)

佐久市立中込中学校
*ご意見、ご要望、お問い合わせ
などは、下記までお寄せ下さい。
TEL 0267-62-0725
Fax 0267-62-2876